

16番 繁昌 誠吾 議員

1 公共施設について

(1) 職員の接遇について

- ① これまで、本庁や総合支所の職員の接遇について、市民の声直行便にて苦情等が来ていたが、最近では鹿屋市観光物産総合センターや子育てプラザ等、指定管理者施設等での苦情も寄せられるようになった。公共施設での接遇への苦情に対して行政としてどう捉え、市職員の接遇と併せて今後の対応策を示されたい。

(2) 児童センター及び子育てプラザについて

- ① 昨年12月、児童センターの在り方について議員説明会が開催された。現在、サウンディング調査が実施されているようだが、子育て中の保護者から不安の声が上がっている。子育てプラザが代替施設との考えもあるようだが、保護者からは年齢層や地域性等の違いや、申請や手続等の煩雑さもあり利用をためらっているとの声を聞く。施設の在り方については利用者や地域の方々、子育て世代の方々の声をしっかり聞くことが重要だと考えるが、今後の対応策を示されたい。

(3) 交流センター「湯遊ランドあいら」について

- ① 予算委員会において湯遊ランドの指定管理料等については様々な議論があったと聞く。サウンディング調査の結果は先日公表されたが、損失を見込んでの指定管理料の設定には違和感を覚える。新型コロナによる運営の難しさは理解できるものの、公共施設等総合管理計画が具体的に示されない中、湯遊ランドの今後の運営をどう考えているのか。

また、民間譲渡や直営を含めて今後の方針を示されたい。

(4) 市民交流センターの今後の在り方について

- ① 市民交流センターの今後の在り方については、今年度中には施設の在り方を決める方針であると答弁されているが、市民から必要性や公益性について不満の声が届いている。市街地活性化もままならない状況を考えると民間譲渡や直営を検討すべきと思うが、どう考えるか。

また、キタダサルuggaや(株)おおすみ観光未来会議を施設内に置くことで大幅な経費削減が見込めると思うが、どうか。

16番 繁昌 誠吾 議員

2 観光行政について

(1) 株おおすみ観光未来会議の今後について

- ① 先月末、株おおすみ観光未来会議の株主総会が開催された。今年度も3,000万円を超える税金が投入される見込みである。一方、昨年度も観光庁等のDMO関連事業については事業採択が厳しいものとなっていることをどう捉え、今後の事業採択に向けて株主としてどのような対策を図っていくのか、示されたい。

また、会社の課題として人材育成等を挙げているが、今後の広域観光をどう進めていくのか、方針を示されたい。